

平成 27 年度実施計画

1. 誘引対策

- (1) 音声装置の稼働
赤岩基部に可能な限り 3 月中に設置、稼働する。

2. 飛来・繁殖調査

繁殖地内カメラや目視等により、飛来数、餌運び、雛及び巣立ち等の調査を実施する。

- (1) 繁殖地内カメラの稼働（交換・メンテナンス・改良の実施）
4 月中に既存の繁殖地内カメラの交換とメンテナンス作業を行う。また H26 年度の結果を踏まえ、カメラの汚れ防止機能に改良を加えるほか、カメラ機器のパッケージ化などを行い作業の効率化を図る。
- (2) 渡り調査
ウミガラスの渡りの時期である 3 月～4 月上旬に渡りの調査を数度、実施する。
- (3) 目視調査
その他随時、目視による調査を行う。

3. 捕食者対策

H26 年度に引き続き、オオセグロカモメ・ハシブトガラスの捕食者対策を実施する。

- (1) 銃器（エアライフル）による捕獲
- 1) 実施時期
5 月から 8 月（週 1 回程度）
 - 2) 実施範囲・捕獲上限数
 - a) オオセグロカモメ
ウミガラスに被害を及ぼす恐れのある赤岩対崖繁殖地周辺の個体を捕獲する。ただし、近年のオオセグロカモメの繁殖状況を踏まえ、状況に応じて捕獲範囲をさらに縮小するなどの対応を行う。
 - b) ハシブトガラス
ウミガラスに被害を及ぼす恐れのある海鳥繁殖地・ねぐら周辺の個体を捕獲する。
- (2) モニタリング調査
ハシブトガラスについて、ラインセンサス調査を実施し、個体数に変動がみられるか調査する。オオセグロカモメについても、天売島海鳥研究室の調査に協力し個体数に変動がみられるか調査する。

4. 普及啓発活動

繁殖地内カメラの映像（音声付き）などを活用し、ウミガラスに関するリアルタイムの情報発信を地元関係者、観光施設などと連携して実施し、海鳥保全の普及啓発・地域振興に活用する。

